電波の有効利用と無線通信技術セミナー

参加無料

安心安全な山岳高原観光・マウンテンリゾートをめざして

「山岳・雪崩等遭難者電波探索システムのための周波数有効利用技術に関する調査検討」の報告と「人位置検知システム」のご案内

◆ 開催日時、場所

日時：平成２９年３月２１日（火）１４：００～１６：３０

場所：新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」 ＪＲ新潟駅直結

〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口１丁目１番地 プラーカ１（２階）

http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimete/

◆ プログラム

- 山岳・雪崩遭難の救助について　特定非営利活動法人ＡＣＴ
- 調査検討会の成果報告について　ＮＴＴアドバンステクノロジ株式会社
- 人位置検知システムについて　株式会社サーキットデザイン

◆ 募集人員

７０名（先着順）

主催　総務省 信越総合通信局　信越電波協力会

信越情報通信懇談会（電波利用委員会）

国立大学法人新潟大学 国際情報通信研究センター

セミナーのお問合せ先、お申込み先

総務省 信越総合通信局 無線通信部 企画調整課

〒380-8795　長野県長野市旭町１１０８　長野第１合同庁舎

電話番号：０２６－２３４－９９５３

e-mail：shinetsu-kikaku_atmark_soumu.go.jp

信越総合通信局は、平成２８年度、「山岳・雪崩等遭難者電波探索システムのための周波数有効利用技術に関する調査検討会」（※）を実施しました。

近年、国民のみならず海外からの来訪者によるマウンテンスポーツ及びレジャー人口の増加に伴い、山岳・雪崩遭難事案が増加してきています。　遭難者の救難救助に当たっては、一刻を争うもので、警察、消防及び自治体等の機関を始めとした多数の捜索関係者等により、昼夜天候の区別無く長期間にわたって実施されている状況であり、一層の効率的かつ迅速な対応を求められてきているところです。

このような状況から、山岳・雪崩遭難者電波探索システムの電波の反射を利用した探索を行う技術について検討することで、一刻を争う救難救助の円滑かつ迅速化、二重遭難回避と負担軽減を図り、周波数を有効利用するための方策、技術的条件の策定に資することを目的に実施してきました。

この技術に関しては、今後、技術的条件等を始めとした制度が整いますと、捜索・救助関係者等にとっても朗報になるものと期待されます。

なお、調査検討会では、最終の会議を３月１０日に行い、検討結果について審議の上、取りまとめる予定ですので、その成果に関する報告を踏まえ、電波の有効利用と無線通信技術セミナーを開催させて頂きます。

（※）　調査検討会は、座長：笹森 文仁（信州大学 教授）、座長代理：金 旼錫（新潟大学 准教授）ほか捜索・救助機関、電気通信事業者及び無線機器製造事業者等の計１３名で構成

お申込み方法等

※　電子メールにより、以下の必要事項を記載の上、平成２９年３月１５日（水）までに、お申込み下さい。

※　申込先電子メールアドレス：**shinetsu-kikaku_atmark_soumu.go.jp**

・ スパムメール対策のため「@」を「_atmark_」と表示しております。

※　記載をお願い致します事項

①　件名：「電波利用セミナー　参加申込み」

②　参加者の氏名（複数名の場合には、それぞれのお名前を御記載願います。）

③　所属組織名等（企業・学校・組織の名称に、所属部署名を御記載願います。）

④　参加者の連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレスをお知らせ下さい。）

※　定員に達した場合にのみ、返信連絡の電子メールを差し上げます。

※　個人情報については、次の目的以外には、使用致しません。

①　セミナー参加者名簿の作成及び参加の確認。

②　自然災害等によるセミナーの中止又は申込み定員に達し聴講をお断りする場合の連絡。

会場案内図

※　ＪＲ新潟駅　南口
　　新幹線東口改札を出て徒歩３分

※　本施設には、専用駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用頂きますか、周辺の有料駐車場をご利用下さい。（自己負担）